

「政策・制度要求と提言」を申入れ

連合岩手花巻北上地域協議会（高橋信秋 議長）は12月14日花巻市と北上市へ20日には西和賀町へ「政策・制度要求と提言」及び「生活者困窮支援に関する緊急要請」を提出致しました。

この政策・制度要求は、連合岩手の方針及び当地協加盟組合からの要望等を推薦議員と意見交換を開催しながら纏めた物で「新型コロナウイルス感染症に関する対策」、「労働者に関する施策」、「社会福祉、保健医療」、「教育の拡充」、「安心、安全、持続可能なまちづくり」、「ハラスメント対策」を盛り込んだ要請で、花巻市と北上市へは36項目、西和賀町へは37項目を要求。

2023年度予算をはじめ具体的な政策に反映していただき、市民・町民生活の安定と質の向上、活力ある市政・町政の実現に向け、各自治体へ申入れ致しました。

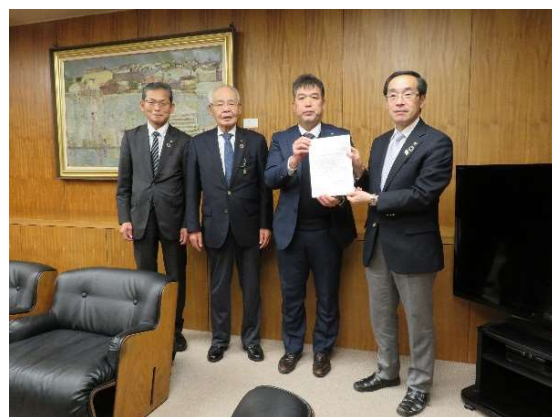
花巻市への申入れには、阿部一男 市議、照井省三 市議にも出席いただき、それぞれ担当部局から現状の報告等答弁があり、上田花巻市長からは、中小企業への燃料高騰対策として十分ではないが20万円を市独自で補助、物価高騰については、中小零細企業含めて給料が上がらないと日本の経済は良くなるので、連合さんには賃上げを頑張ってもらいたい、最低賃金も大事なので周知していきたいと述べられました。



北上市への申入れには、八重樫七郎 市議と平野明紀 市議にも出席いただき、要請に対する懇談を開催。

高橋北上市長からは、「どれも大事な施策と見受けられる、十分に検討していきたい。企業誘致が進んだことから、人財の流動・人手不足の課題等」が話されました。

平野市議からも、子ども食堂について運営スタッフが不足している現状が話され、自治体としての支援を要望いただきました。



西和賀町への申入れは、昨年（令和3年11月）の町長選挙以降初めての申入れとなり内記町長へ手交し、連合岩手として県内各自治体へ行っている事や要請内容について意見交換致しました。また、コロナ禍・物価高から「生活者困窮支援に関する緊急要請」についても対策を講じていただくよう要請しました。



各自治体からは、1月下旬を目処に書面での回答を頂く予定です。